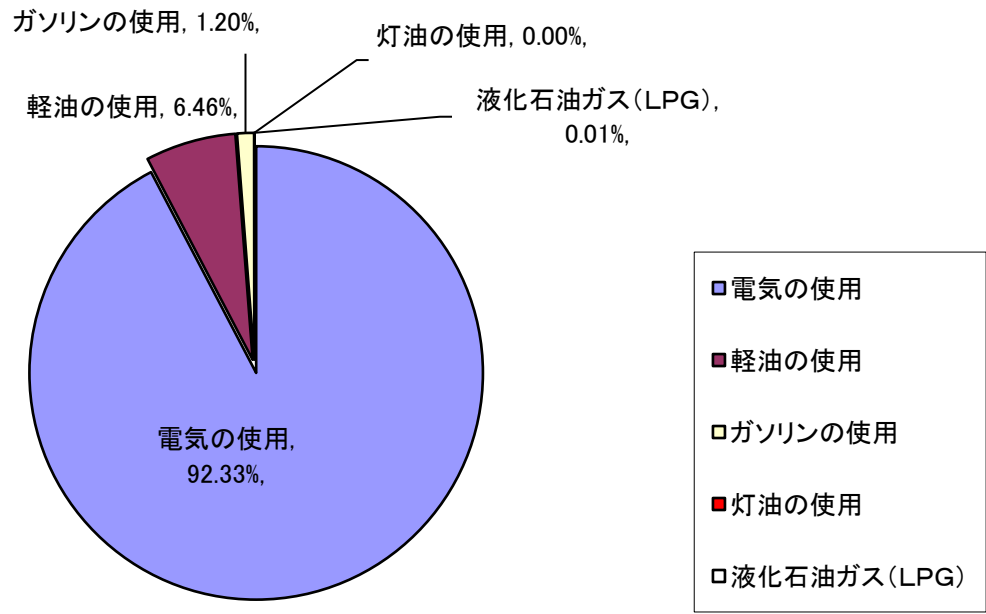


日南串間広域不燃物処理組合 二酸化炭素排出算定シート

調査項目		固有単位	基準年度R6年度活動量入力	使用する排出係数	単位	二酸化炭素排出量	単位
燃料使用量	一般炭	kg		0.00233	t/kg	0.00	t
	ガソリン	L	743.0	0.00229	t/L	1.70	t
	ジェット燃料油	L		0.00248	t/L	0.00	t
	灯油	L		0.00250	t/L	0.00	t
	軽油	L	3,476.0	0.00262	t/L	9.11	t
	A重油	L		0.00275	t/L	0.00	t
	B重油	L		0.00310	t/L	0.00	t
	C重油	L		0.00310	t/L	0.00	t
	液化石油ガス(LPG)	kg	5.7	0.00299	t/kg	0.02	t
	液化天然ガス(LNG)	kg		0.00279	t/kg	0.00	t
	都市ガス	m3		0.00279	t/m3	0.00	t
九州電力株式会社		kWh	275,967.0	0.000472	t/kWh	130.26	t
熱の供給量		MJ		0.000057	t/MJ	0.00	t
一般廃棄物焼却量(廃プラスチック量)		乾t		2.7647	t/乾t	0.00	t
R7年度排出実績量						141.08	t
R7年度排出計画量						144.86	t

要因別の二酸化炭素排出状況



点検及び評価

令和6年度を基準として、令和12年度までに二酸化炭素総排出量の5%削減を目標としている。
令和7年度末現在、約3.7%の削減を達成した。二酸化炭素排出削減の主な要因としては、ごみの適切な受入れや分別削減を推進した結果、ごみの搬入量が減少することで施設稼働の減少につながり、ひいては電気の消費電力が減少したためである。